

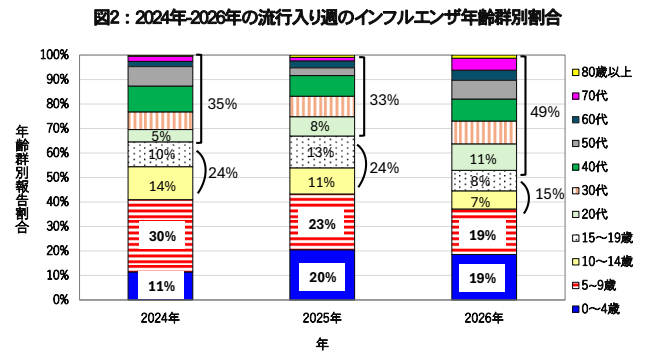
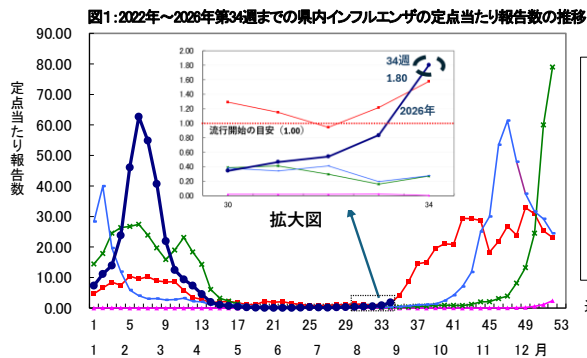
【今週の注目疾患】

《インフルエンザ》

2026年第34週（8月17日から8月23日）における定点当たり報告数は1.80となり、流行開始の目安とされている1.00を上回りました¹⁾（図1）。

今後、更なるインフルエンザ患者数の増加が見込まれるため、こまめな手洗い、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、室内では適度な換気や湿度の保持を心がけましょう^{1,2)}。

年齢群別は、10歳未満が120例（内訳は、0～4歳が60例（19%）、5～9歳が60例（19%）、合わせて38%）と最も多く、次いで10代が51例（内訳は、15～19歳が27例（8%）、10～14歳が24例（7%）、合わせて15%）、20代が35例（11%）と続いていた。2024年、2025年の流行入り週時点（2024年：第43週、2025年：第38週）と比べて、10代の割合が15%と低く、20歳以上の成人の割合が49%と高かった（図2）。



全国においても、第33週時点で流行開始の目安（定点当たり報告数1.00）を超えている都道府県が複数（青森県1.71、宮城県1.22、埼玉県1.70、神奈川県1.37、新潟県1.09、沖縄県2.89）で見られている²⁾。

インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気である。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴であるほか、咽頭痛、鼻汁、咳等の症状も見られる。小児ではまれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫力が低下している患者の場合には肺炎を伴うなど重症化する危険性が高い。

予防するための有効な方法としては、(1)こまめな手洗い、(2)十分な休養とバランスの取れた栄養摂取、(3)室内ではこまめに換気、(4)人混みや繁華街への外出を控える、(5)適度な湿度の保持、(6)ワクチン接種、が挙げられる^{1,3)}。

■参考・引用

1) 千葉県健康福祉部健康福祉政策課：インフルエンザの流行について（令和8年8月26日）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/influ-260826.html>

2) 国立健康危機管理研究機構：IDWR 速報データ（2026年第33週）

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/provisional/2026/index.html>

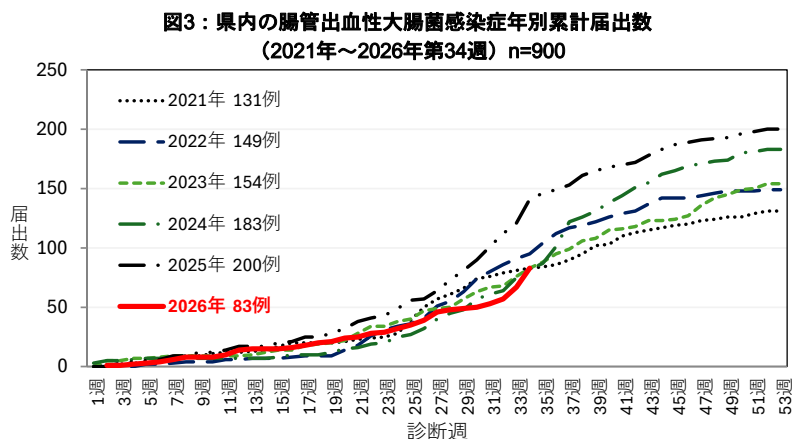
3) 千葉県健康福祉部健康福祉政策課：インフルエンザから身を守ろう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

《腸管出血性大腸菌感染症》

2026年第34週に県内医療機関から16例の届出があり、累計は83例となった（図3）。

気温が高い初夏から初秋は腸管出血性大腸菌の多発期にあたる¹⁾ことから、今後の発生動向には引き続き注意が必要である。



2026年に届出のあった83例の概要は以下のとおり。

性別は、女性49例（59%）、男性34例（41%）だった。年代別は、20代が21例（25%）で最も多く、次いで30代が12例（15%）、40代が11例（13%）だった。

発現した主な症状別（発生届の記載による、複数記載あり）は、有症状者50例のうち、腹痛が45例（90%）で最も多く、次いで水様性下痢が42例（84%）、血便が30例（60%）と続いた。溶血性尿毒症症候群（HUS）の症状を呈したのは4例（8%）だった。

血清群毒素型別は、腸管出血性大腸菌が分離された81例中、O157VT2が18例（22%）で最も多く、次いでO157VT1VT2が11例（14%）であった。VT2陽性株（VT2単独またはVT1VT2）は27例（33%）であった。

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する大腸菌による感染症であり、汚染された食品や手指を介して感染する。少ない菌数でも感染が成立するため、食品を介した感染だけでなく人から人への感染にも注意が必要である。主な症状は腹痛、下痢、血便であり、まれにHUSや脳症などの重篤な合併症を引き起こす。予防には、食肉の十分な加熱、調理器具の衛生管理、石けんと流水による手洗いの徹底が重要である^{1,2)}。

■参考・引用

1) 厚生労働省：腸管出血性大腸菌 Q&A

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

2) 千葉県健康福祉部健康福祉政策課：O157等腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/ehec/o157.html>